

科目名 Course Name	医学概論 Outline of Medicine			ナンバリング No.	I1-007		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	和田 晴美						
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>この授業では、日頃何気なく営んでいる生活行動は、「からだ」がどのように機能してなされているかという点に着目する。まず人間の成長と発達から始まり、正常なからだの構造と機能を理解したうえで、生活障害に繋がる疾病や障害について理解し、さらに公衆衛生の概要について学ぶ。</p> <p>①人の成長と発達の段階と特徴を、説明できるようにする。 ②人体を構成する臓器の名称、構造、機能を説明できるようにする。 ③からだの構造や機能と、日常生活行動の関連を説明できるようにする。 ④疾病と障害の原因、症状、回復過程(障害は留意事項や対応方法)を列挙できるようにする。</p>						
授業の方法	講義中心であるが、人体構造の理解を深めるために教室内でできる小実験を行う。「疾病の概要」は分担して、個人による学習(課題の調査、資料作成、発表)を行い、ディスカッションを通して重要事項の共通理解を深めることとする。						
学習成果	L01						
	L02	人の成長と発達、老化の過程や人体の構造と機能の概要を説明することができる。					
	L03	疾病や障害の概要をふまえ、対応時の留意点を明確にすることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業の初めからからだに関するクイズを出し、授業内でクイズの解答がわかるように進める。						
教科書/参考図書	①最新・社会福祉士・精神保健福祉士養成講座1 医学概論 中央法規出版 ②坂井建雄著 ぜんぶわかる人体解剖図 成美堂出版						
履修上の留意点やルール等	この科目は「社会福祉士国家試験」受験における必修科目である。また、社会福祉主事任用資格の該当科目でもある。講義・文献調査ともに積極的に参加することを望む。欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	評価基準 S は、授業への準備(テキスト、ノート等)をし、授業中必要なことはノートにとり、積極的に参加していること。		10		
レポート/作品	「疾病の概要」について文献調査し、レポートにまとめる。評価基準 S は、課題をよく理解し、必要な文献を調査精読していること。他の人にも理解しやすい資料を作成し、期限を厳守して提出すること。		10		
発表	分担された課題について調べた内容を発表する。評価基準 S は、発表が分かりやすく、他者をひきつけるような内容である。わからないことは理解できるまで検討している。質問に対して的確に答えられる。		10		
小テスト	第7回目に知識の確認のため小テストを実施する。		10	10	
試験	授業の振り返り、知識習得の確認のために試験を行う。問題は文章の正誤を判断するものや、語群からの選択問題、穴埋め問題等。		10	40	
その他					
合計			50	50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明) ライフステージにおける心身の変化と健康課題 人の成長と発達①
	事前・事後学習	自分の出生時の身長と体重、1歳までの発達を親に聞きプリント記載。
2	授業内容	ライフステージにおける心身の変化と健康課題 人の成長と発達② 加齢・老化 健康課題
	事前・事後学習	発達課題(エリクソン)の各期をノートに転記し、自分に当てはめて考え記載する。
3	授業内容	健康及び疾病の捉え方 健康の概念、疾病の概念、ICF
	事前・事後学習	発表に向けて、文献調査、資料作成を行う。
4	授業内容	身体構造と心身機能① 人体各部の名称(筋、骨、関節) <実験 随意運動>
	事前・事後学習	人体の骨の名称、筋肉の名称を調べ、記載する。第3回の課題を引き続き行う。
5	授業内容	身体構造と心身機能② 動く 体内の循環
	事前・事後学習	心臓の構造、体循環・肺循環の図を書く。第3回の課題、資料提出の準備をする。
6	授業内容	身体構造と心身機能③ からだを守る 息をする
	事前・事後学習	肺の解剖図を書き、名称を記載する。
7	授業内容	身体構造と心身機能④ 食べる トイレに行く 【小テスト、解答・解説】
	事前・事後学習	小テストの準備をする。
8	授業内容	身体構造と心身機能⑤ 見る・聞く・感じる <実験 盲点、利き目を調べる、痛点を調べる> 考える ホルモン調整とストレス
	事前・事後学習	次回発表に向けて、発表資料を準備する。
9	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程① 悪性新生物 脳神経系 循環器系疾患
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
10	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程② 内分泌系 呼吸器系 消化器系疾患
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
11	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程③ 血液系 腎・泌尿器系 骨・関節系疾患
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
12	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程④ 感覚器系 感染症 神経系疾患と難病 先天性疾患
	事前・事後学習	発表された疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
13	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程⑤ 障害の概要 肢体不自由 内部障害 知的障害
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
14	授業内容	疾病と障害の成り立ち及び回復過程⑥ 障害の概要 発達障害 認知症 精神障害
	事前・事後学習	疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
15	授業内容	公衆衛生 国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方 授業のまとめ
	事前・事後学習	試験準備。